科目名		英語 I	学年	1				
講館	币名	日野 忠大	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
国際社 医療従	会に対り 事者と	むし得る能力を養い、英会話の基礎を身に付ける。 、て、人体の部位の英単語及び医療的な英会話を身に付	ける。					
	7 4 6 6		1.7 00					
	1	日常の英単語						
	2	日常の英単語						
	3	身体部位の英単語						
	4	身体部位の英単語						
講	5	医療英会話						
	6	医療英会話						
義	7	リスニング						
	8	リスニング						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14		· · ·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	15							

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ו		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
	_	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考	授業	プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名	シミュレーション実習					学年	1
講師名	専任教員	時間数	225	単位数	5	コマ数	113

教科目標

救急隊員の責務、心構え、知識の向上を実技及びシミュレーションを通し、国家試験合格レベルの学力を身につける。また、MCの意味を理解する。さらに近年のプレホスピタルケアの処置拡大に伴う高度化した救急資機材の機能や特性を把握し、取扱いの習熟、保守管理を含めた手技を学ぶ。

,, , <u>,</u>	-100	
	1~10	 礼式(物品の授受、隊の編成、停止間の礼式、行進間の礼式、始業点検、車両点検、救急車取り扱い説明、展示)
	11~18	結索法、包帯法(本結び、モヤイ結び、八の字結び、巻き結び、その他結索全般) 三角巾法(全巾、半巾、たたみ三角巾、その他)、巻軸包帯、展示
	19~23	徒手搬送法(ファイヤーマンズキャリー法、バックストラップ法、サドルバック法、ヒューマンチェーン、組み手搬送、両手搬送、抱き上げ搬送、支持搬送、救出搬送、視力障害歩行体験)
	24~35	担架搬送法(メインストレチャー、サブストレチャー、布担架、スクープストレチャー,バックボード、曳航法、担架収容法、車内収容法、ストレッチャー上での固定)
	36~40	保温法(毛布1・2・3枚法、アルミシート法、冷罨法、温罨法) 止血法(直接圧迫止血、間接圧迫止血、止血帯、止血棒、ターニケット)
講	40~50	体位管理(ストレッチャー上での仰臥位、昏睡体位、トレンデレンブルグ位、逆トレンデレンブルグ位、起座位、半座位、展示) 固定法(副子固定、アルフェンスシーネ、マジックギブス、ポリネック)
義	51~65	観察(環境観察、出血、嘔吐、顔貌、失禁、四肢変形) (意識(JCS、GCS)、呼吸(聴診器)、脈拍、血圧体温、瞳孔(ペンライト)、展示
内	66~75	気道管理(食道閉鎖式エアウエイ、ラリンゲアルマスク、気管挿管の手技、イージーキャップの使用法、EDDチェッカーの使用法、カプノメーターの構造・使用方法)
容	76 ~ 85	静脈路確保、薬剤投与(輸液セットの設定、静脈路の知識、必要な資器材、アドレナリンの知識、薬剤投与の適応、静脈路確保の指示要請ならびに救命士報告、展示)
ш	86~113	隊での活動

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基 準	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	名			-			学年	1
講自	币名	池田淳也 吉田英明	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
臨床検		的、意義、種類、検査方法について理解を深める。						
	1	臨床検査概論						
	2	一般検査、血液検査						
	3	凝固検査、輸血・血液型検査						
	4	免疫検査、生化学検査						
講	5	生化学検査、微生物検査、緊急検査						
	6	生理機能検査						
義	7	生化学検査、病理・細胞診検査、画像検査	-					
	8	画像検査、まとめ						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ו		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。			
備考		敗命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	3名	一般知能·一般知識 I 学年 1
講自		大室 英幸、田村 和香子 時間数 90 単位数 6 コマ数 45
	目標	
 将来の	就職試	験でも必要となる一般知能・一般知識の基礎知識を会得する。
	1	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))
	2	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))
	3	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))
	4	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))
	5	社会科学(政治(国会・内閣・人権など))
	6	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))
	7	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))
	8	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))
	9	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))
	10	社会科学(経済(市場経済・金融と財政など))
	11	人文科学(日本史)
	12	人文科学(日本史)
	13	人文科学(日本史)
	14	人文科学(世界史)
	15	人文科学(世界史)
	16	人文科学(世界史)
	17	人文科学(地理)
	18	人文科学(地理)
講	19	人文科学(地理)
	20	人文科学(地理)
<u> </u>	21	人文科学(文学)
義	22	人文科学(芸術)
	牧忌 歩会	判断推理
内	24	判断推理
•	25	判断推理
	26	判断推理
容	27	判断推理
	28	数的推理
		数的推理
		数的推理
	31	数的推理
	32	数的推理
	33	文章理解•資料解釈(現代文)
	34	文章理解・資料解釈(現代文)
		文章理解•資料解釈(古文)
	36	文章理解•資料解釈(英文)
	37	文章理解・資料解釈(数表・グラフ)
	38	自然科学(物理)
	39	自然科学(物理)
	40	自然科学(化学)
	41	自然科学(化学)
	42	自然科学(化学)
		自然科学(生物) 自然科学(地学)
	44 45	自然科学(地学)
	40	日然行士、地子/

評価	i 方法	終講試験など		
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
価 基		C(70~79点): 教科目標において一定の水準に達している。 単位認知	Ē	
準	一価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
備考		プンセサミを使用する プリント及びテレビモニターを使用する		

科目名		医学概論	学年	1				
講館	币名	井手生朗	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
		- W						
医学の 白然科	本質、資学とは何	⋸学の発達、医療従事者の倫理を説明できる。 可かを理解し、客観性、再現性、普遍性の重要性を理解す	·る。					
	1 2.01	10 C.T.M.O. C. MOLT. (1980E. C. M. C. T.M.)	•					
	1	人間と人間生活						
	2	科学的思考の基礎						
	3	生命倫理と医の倫理						
	4	生命倫理に関する原則						
講	5	生命倫理の考え方と医療の実際						
	6	傷病者の権利を守る立場から						
義	7	救急救命士の職業倫理						
	8	救急救命士の職業倫理						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14					· ·		
	15							

評価	方法	終講試験など					
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ו				
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定			
基 準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する					

期待名			<救急救命士字科 シラバス>
### 14			解剖学·生理学 学年 1
中の構造と機能を中心とした基本的内容を理解する。 1			田中真樹、佐藤惇、三戸浩平 時間数 120 単位数 8 コマ数 60
2 生理学とは〈生理学における月語・医学の基礎としての生理学〉 3 細胞と組織 4 細胞と組織 6 細胞と組織 7 皮膚と膜 10 皮膚と膜 11 血液 12 血液 13 血液 16 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 何速器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 沙尿器系 28 次尿器系 29 沙尿器系 20 沙尿器系 21 中分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 防系 44 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 50 皮質系 51 免疫系 52 皮質系 53 改質器系 54 皮質系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系			機能を中心とした基本的内容を理解する。
2 生理学とは〈生理学における月語・医学の基礎としての生理学〉 3 細胞と組織 4 細胞と組織 6 細胞と組織 7 皮膚と膜 10 皮膚と膜 11 血液 12 血液 13 血液 16 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 何速器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 沙尿器系 28 次尿器系 29 沙尿器系 20 沙尿器系 21 中分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 防系 44 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 50 皮質系 51 免疫系 52 皮質系 53 改質器系 54 皮質系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系		1	解剖学とは(解剖学における用語・医学の基礎としての解剖学)
3 細胞と組織 4 細胞と組織 5 細胞と組織 6 細胞と組織 7 皮膚と膜 9 皮膚と膜 9 皮膚と膜 11 血液 12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 36 岩化器系 37 生殖器系 31 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 大角分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 46 肠系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 肠系 55 脱液系 45 肠系 45 肠系 46 肠系 47 神経系 59 神经系 50 神经系 50 神经系 50 神经系 51 感覚器系 52 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ			
4 細胞と組織 5 細胞と組織 7 皮膚に膜 9 皮膚に膜 10 皮膚と膜 11 血液 12 四球 12 四球 13 小型 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 20 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 23 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 37 大型器系 30 以尿器系 31 以尿器系 31 以尿器系 32 内分泌系 33 内分泌系 33 大分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 41 所系 42 骨格系 42 骨格系 43 肠系 44 肠系 45 肠系 45 肠系 46 肠系 47 神経系 50 神经系 51 感覚器系 55 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ		_	
5 細胞と組織 6 細胞と組織 7 皮膚と膜 9 皮膚と膜 10 皮膚と膜 11 血液 11 血液 11 血液 11 血液 11 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 が必認 消化器系 24 消化器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 24 消化器系 37 大分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 31 内分泌系 31 内分泌系 32 大分泌系 33 内分泌系 44 防系 47 神経系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 防系 44 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 59 感覚器系 50 神经系 50 神经系 51 免疫系 50 免疫系 55 免疫系 56 免疫系			
6 細胞と組織 7 皮膚 膜 9 皮膚 膜 9 皮膚 膜 10 皮膚 上膜 11 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 18 呼吸器系 20 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 24 消化器系 25 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 30 必尿尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 人为分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 53 吸疫系 54 免疫系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ			
7 皮膚上膜 8 皮膚上膜 9 皮膚上膜 10 皮膚上膜 11 血液 11 血液 12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 21 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 25 消化器系 31 人分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 55 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 59 解剖学まとめ 50 性理学まとめ 50 性理学まとめ 59 解剖学まとめ 59 解剖学まとめ		_	
8 皮膚上膜 9 皮膚上膜 11 血液 12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 25 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 中分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 37 生殖器系 39 が必系 30 が必系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 39 が表 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 58 免疫系 59 解刺学まとめ 60 生理学まとめ		_	
9 皮膚と膜 10 皮膚と膜 11 血液 12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 20 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 31 内分泌系 31 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 防系 45 防系 45 防系 45 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 51 感覚器系 52 经疾系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
10 皮膚と膜 11 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 防系 44 防系 45 防系 45 防系 46 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 48 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 55 感覚器系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
11 血液 12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 19 阿吸器系 20 阿吸器系 22 阿吸器系 22 阿吸器系 22 阿吸器系 23 阿尔瑟斯系 29 泌尿器系 29 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 40 骨格系 41 情格系 42 骨格系 43 筋系 45 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 51 應覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫死 56 免疫系 56 免疫死 56 免疫系		_	
12 血液 13 血液 14 血液 15 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 25 消化器系 24 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 29 泌尿器系 30 沙及彩系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 34 生殖器系 34 生殖器系 34 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 50 冰系 50 神経系 64 防系 65 防系 66 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ			
13 血液 14 血液 16 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 24 治化器系 25 治化器系 26 治化器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 49 神経系 40 神経系 50 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		-	14.
14 血液 15 循環器系 16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 39 生殖器系 39 生殖器系 31 中核系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 44 筒系 66 6 6 6 5 6 6 6 6		_	
15 循環器系 16 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器器系 36 生殖器器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 防系 44 防系 45 防系 45 防系 46 防系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 50 神経系 51 医覚器系 52 医受質器系 53 医受器系 54 医变管器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ			
16 循環器系 17 循環器系 18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 30 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
17 循環器系 18 個項器系 20 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 24 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 39 生殖器系 39 生殖器系 39 生殖器系 31 中格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 節系 45 節系 46 節系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 50 神経系 51 医覚器系 52 医覚器系 53 医变器系 54 医变器系 55 免疫系 55 免疫系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学家とめ 60 生理学家とめ 60 生理学家との 60 生理学家とめ 60 生理学家とめ 60 生理学家と教 60 生理学家とめ 60 生理学家とり 60 生理		_	
18 循環器系 19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 25 消化器系 28 泌尿器系 28 泌尿器系 30 小穴が泌系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 40 骨格系 43 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 60 生理学まとめ			re in earli
19 呼吸器系 20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系			
20 呼吸器系 21 呼吸器系 22 呼吸器系 数型 24 消化器系 25 消化器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 59 解剖学まとめ			
1 呼吸器系 22 呼吸器系 24 消化器系 24 消化器系 26 消化器系 26 消化器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ 50 神部学まとめ 50 神部学な 50 神部学者			
22 呼吸器系			
消化器系 24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感受発 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
24 消化器系 25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 防系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 55 使衰器系 55 使衰器 56 使衰系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ		救忌	当化哭玄
25 消化器系 26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 42 骨格系 44 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 医覚器系 54 筋系 55 神経系 56 神経系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
26 消化器系 27 泌尿器系 28 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 44 餘系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
27 泌尿器系 28 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 4 中格系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 44 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感免系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
28 泌尿器系 29 泌尿器系 30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 33 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 45 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	謙	27	
30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 38 生殖器系 土標3 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 51 感覚器系 52 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	1177	28	泌尿器系
30 泌尿器系 31 内分泌系 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 38 生殖器系 土標ジ骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 42 骨格系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	¥	29	泌尿器系
8 32 内分泌系 34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 43 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	72	30	
32 内分泌系 33 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 40 骨格系 41 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	ф	31	
容34 内分泌系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 土標2 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	M	32	
34 内方ル系 35 生殖器系 36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 土標2 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 59 任理学まとめ 59 日本学まとめ 59 日本学書 50 日本学書	क्र		
36 生殖器系 37 生殖器系 38 生殖器系 土標試骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ	台		
37 生殖器系		_	
38 生殖器系 土標記 骨格系 40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
士標記		_	
40 骨格系 41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 50 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 58 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
41 骨格系 42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
42 骨格系 43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		-	
43 筋系 44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 52 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
44 筋系 45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
45 筋系 46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
46 筋系 47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 57 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
47 神経系 48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
48 神経系 49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			100.11
49 神経系 50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		-	
50 神経系 51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		_	
51 感覚器系 52 感覚器系 53 感覚器系 54 感覚器系 55 免疫系 56 免疫系 57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
53感覚器系54感覚器系55免疫系56免疫系57免疫系58免疫系59解剖学まとめ60生理学まとめ		51	
54感覚器系55免疫系56免疫系57免疫系58免疫系59解剖学まとめ60生理学まとめ		52	感覚器系
55免疫系56免疫系57免疫系58免疫系59解剖学まとめ60生理学まとめ		53	
56免疫系57免疫系58免疫系59解剖学まとめ60生理学まとめ		54	
57 免疫系 58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ		55	
58 免疫系 59 解剖学まとめ 60 生理学まとめ			
59 解剖学まとめ60 生理学まとめ			
60 生理学まとめ			
		-	
57.77 ± 1.4 (4) 525.25.45.10		60	生埋字まとめ

評	価方法	終講試験など							
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1						
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。							
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定					
準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。							
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。							
備オ		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する							

4 4 E	-	マリス/ひリスドリエ 」 「 中 李 柳 ツ	· ·				24 J-	4
件目	目名	患者搬送					学年	ı
講館	币名	中田敏宏	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
		役割、口頭指導の概念·方法、活動記録、他機関との連打。 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんしょ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう			5 。			
病院前	救護の	役割、概要、救急救命士の医療関係職種としての責任を 流れ、状況・初期評価、現場~救急自動車収容・医療機「	説明できる	。 い	エロ・タンプラス			
	現場の 経験の	元れ、仏流・初朔評価、現場~秋志自勤単収谷・医療機に ある教員等による授業科目となる	対収谷の旅	(达力) 広で	理解りる			
	1	消防機関における救急活動の流れ						
	2	救急救命士の役割と責任						
	3	現場活動の基本						
	4	搬送総論						
講	5	搬送方法						
	6	器具を用いた搬送						
義	7	搬送手順						
	8	ヘリコプターへの傷病者の搬入と搬出、事	故車両	からの	 放出方法	.		
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など								
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1							
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。								
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定						
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。								
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。								
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する										

科目	1名	看護概論					学年	1
講自	币名	三瓶泰子	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
傷病者	とのコミ	言護の位置づけと役割、在宅療法の概念、種類、対応につ ュニケーションの技法、 医療機関とのコミュニケーションの おけるヒューマンエラー、インシデント・アクシデントのハイン	の要点を訪	朗できる				
	1	接遇とコミュニケーション						
	2	対象に応じたコミュニケーション、救急活動	でのコミ	ミュニケ	ーション	/		
	3	安全管理と事故対応						
	4	感染予防						
講	5	在宅療法とは、在宅療法への対応(HOT,	在宅人	工呼吸	、気管	辺開)		
	6	在宅療法への対応(植え込み型ペースメー	力一、糺	圣管栄養	養、IHV)		
義	7	在宅療法への対応(血液透析、腹膜透析、	尿道力	テーテ .	ル、人コ	肛門)		
	8	講義の復習、国家試験の過去問解説、終認	構試験!	こついて				
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ו		
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
	_	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する					

		マタン マングラン イング マング マング アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	<u> </u>	•/ \/				
科目	1名	救急災害医療					学年	1
講的	币名	佐藤友彦	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
		る救急自動車による救急搬送の現状、概要の理解。						
救急医災害の	療機関(完姜 4	の役割と要件の理解。 }類の理解。						
<u>※実務</u>	た我、/ 経験の	ある教員等による授業科目となる						
	1	救急医療体制(病院前医療)						
	2	救急医療体制(救急医療システム、救急医	療情報)				
	3	災害医療体制(トリアージ)						
	4	災害医療体制(大規模災害、特殊災害)						
講	5	病院前医療体制(救命の連鎖、市民による	一次救	命処置	<u>†</u>)			
	6	病院前医療体制(市民教育、メディカルコン	トローノ	レ)				
義	7	救急救命士に関する法令						
	8	救急救命士の養成と生涯教育						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など								
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1							
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。								
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定						
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。								
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。								
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する										

		<u> </u>	ンフィ	ハノ	•			
科目	名	呼吸器官					学年	1
講館	币名	境 純平	時間数	30	単位数	2	コマ数	15
教科	目標							
呼吸不	全の概念	、構造、機能、仕組み、ガス交換、調節を理解する。 念、基本的病態の説明、呼吸不全症例・緊急度が高い所り 度、分類、随伴症候、観察の要点の説明ができる。	見を列挙で	きる。				
	1	呼吸器系の構成と役割						
	2	呼吸、気道						
	3	胸郭、肺						
	4	肺胞でのガス交換 体内での酸素の働き	呼吸の	調節				
講	5	呼吸不全総論 呼吸運動の障害						
	6	気道の障害 肺胞の障害 肺間質の障害						
義	7	呼吸困難定義・概念						
	8	分類 呼吸器による分類 程度による分類						
内	9	原因疾患 随伴症候						
	10	緊急度・重症度の判断						
容	11	喀血定義・分類 喀血による影響						
	12	判別を要する病態 緊急度・重症度の判断						
	13	現場活動 医療機関選定						
	14	呼吸系疾患総論 呼吸不全 上気道の疾患	一尺	道と肺	胞の疾	患		

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する					

15 感染症 胸膜疾患 その他の呼吸系疾患

科	1名	公衆衛生学			学年	1		
講館	币名	佐藤友彦	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
公衆衛	生学の	基礎知識を得る。						
現象を	捉え評値	曲するデータを読む力を養う。	→ ★ >					
救急救	命士国:	家試験に求められる公衆衛生学に関する課題への理解力	を養つ。					
	1	公衆衛生学の概念						
	2	公衆衛生学の概念進歩						
	3	保険指標						
	4	公衆衛生学に関する行政組織						
講	5	人口動態						
	6	疾病構造の変化						
義	7	医療供給体制と環境保健						
	8	学校保健、母子保健、地域保健、高齢者保	健、精	神保健	福祉及	び講義の	のまとめ)
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など								
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1							
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。								
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定						
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。								
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。								
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する										

4 41	D Ø	< <u><救急救命士学科</u>	‡ シラハ	バス>	<u> </u>		<u> </u>	1
	目名 師名	● 処置論 I 中田敏宏、池田淳也、境純平、吉田英明	5+ BB W		334 / L 364		学年	1
教 教 教 急 弱 後 機 お 誤 つ た	目標 場での(の使用 使用方流	使用資機材の基本操作・使用方法を理解する。 方法から現場での対応能力を向上させることができる。 およから現場での対応能力を向上させることができる。 おによる傷病者への侵襲を理解し現場での事故防止策で ある教員等による授業科目となる	時間数 を各自で練る	90 ことがて	単位数 できる。	6	コマ数	45
	1	パルスオキシメータ						
	2	カプノメータ						
	3	カプノメータ						
	4	聴診器						
	5	血圧計						
	6	心電図						
	7	心電図						
	8	体温計						
	9	気道確保						
	10	気道確保						
	11	気道異物除去						
	12	気道異物除去						
	13	口腔内の吸引						
	14	声門上気道デバイスを用いた気道確保						
	15	声門上気道デバイスを用いた気道確保						
	16	気管挿管						
	17	気管挿管						
	18	気管挿管						
	19	気管吸引						
講	20	酸素投与						
	21	酸素投与						
義	22	人工呼吸						
	双忌 数命	人工呼吸						
内	24	胸骨圧迫						
	25	胸骨圧迫						
容	26	自動式心マッサージ機の使用						
	27	除細動						
	28	除細動						
		静脈路確保と輸液						
		静脈路確保と輸液						
	31	アドレナリン投与						
		アドレナリン投与						
		自己注射用アドレナリンの投与						
		体位管理						
		体位管理						
	36	15.5						
	37							
		上血						
		創傷処置						
	40	創傷処置						
	41	固定						
	42	固定						
	43	固定						
	44	産婦人科領域の処置						
	45	産婦人科領域の処置						

評価	方法	終講試験など			
評価基		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		敗命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名	情報科学 I					学年	1		
講師名	太田直子	時間数	60	単位数	2	コマ数	30		
教科目標									

社会に出て必要なコンピューターの基礎知識(Word・Excel・PowerPoint等)や文章作成及びプレゼンテーション作成をコンピューターでできるようにする

ノレゼ.	ノナーン	ヨン作成をコンヒューダー どできるように 9 る						
	1	導入(起動方法・ウォーミングアップ)キートレーニング・入力練習						
	2	キートレーニング・入力練習・ビジネス文書の作成						
	3	ビジネス文書の作成・編集						
	4	単語登録·Word書式設定						
	5	Word段落書式・ヘッダーフッター						
	6	Word文字種の変換・タブ機能						
	7	Word特殊記号の入力・タブ機能・表作成の練習						
	8	Word表作成機能−応用						
	9	Word図形描画						
	10	Word図形描画の応用・Wordまとめ						
		PowerPoint概要・基本操作確認・プレゼンテーションの作成						
講	12	PowerPoint基本操作確認・自己PRの作成						
D FT)	13	自己PRの作成・発表						
義		Word復習						
7%		入力テスト・前期終了前課題						
内		PowerPointの復習と活用・画面切り替え・アニメーション						
.,		PowerPoint-マスター操作・内容最終確認-作成						
容		PowerPoint作成上の注意・発表方法の注意点確認						
_		PowerPoint発表準備・グループ発表・全体発表の役割分担						
		PowerPoint発表						
		Excel-導入						
		Excel基本操作-確認·書式設定						
		Excel書式設定·絶対参照						
		Excel絶対参照復習・RANK関数・ページ設定						
		Excel並べ替え・条件付き書式・ページ設定・IF関数						
		Excel棒グラフの作成・IF関数・条件付き書式の応用						
		Excel円グラフの作成・IF関数の応用						
		Excelフィルタ・テーブル・復習						
		ExcelIF関数-活用・ページ設定-活用・COUNTIF関数・入力規則						
	30	Excel復習課題						

評価	方法	終講試験など			
評価基準		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
	〜 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	ĭ	単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		oかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 & Microsoft P	owe	erPoint 202	1を使
備考	用する				
	授 耒	プリント及びテレビモニターを使用する			

		<u>‡ ンフ/</u>	<u> </u>				
科目名	心臓・血管					学年	1
講師名	三戸浩平	時間数	30	単位数	2	コマ数	15
教科目標	教科目標						
心臓の構造と役割、動脈と静脈、リンパ管の解剖と役割、自律神経や内分泌系を説明できる。 心不全の定義、原因、心機能、症候、慢性・急性心不全の処置・搬送・医療機関選定を説明できる。 心不全の疫学、病因、病態、症候、合併症、現場活動の説明と心電図の原理、意義、判読ができる。							
1	循環系の構成と役割 心臓						
2	脈管 循環の制御						
	心不仝総論 疟能生理						

	1	循環系の構成と役割 心臓
	2	脈管 循環の制御
	3	心不全総論 病態生理
	4	症候 種類
講	5	慢性心不全の急性増悪
	6	現場活動
義	7	胸痛の定義・概念 発生機序 原因疾患 緊急度・重症度の判断 現場活動
	8	動悸の定義・概念 発生機序 原因疾患 随伴症候 緊急度・重症度の判断 現場活動
内	9	循環系疾患総論
	10	動脈硬化 うっ血性心不全
容	11	虚血性心疾患 心筋疾患
	12	心膜疾患 不整脈 その他の心疾患
	13	血管疾患 高血圧
	14	心電図の解読 頻脈性不整脈の心電図
	15	徐脈性不整脈 心筋の虚血性変化 その他の心電図異常

評価	方法	終講試験など			
評価		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	1名	神経器官					学年	1
講自	币名	三戸浩平	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
神経の	解剖∙生	王理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。						
	1	神経・感覚器						
	2	運動障害が起こる理由 種類と病態						
	3	感覚障害が起こる理由 種類と病態						
	4	応急処置と搬送時の注意点						
講	5	神経の構造と機能						
	6	観察と判断						
義	7	おもな疾患						
	8	まとめ						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
'								

評価	i方法	終講試験など			
評		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基 準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	1名	生化学	生化学					1
講自	币名	三戸浩平	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科目標 生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝や疾病時の変化などについての基本的事項 を学ぶ。								
	1	細胞の構造と機能						
	2	体液(組成、細胞外液・内液、電解質)						
	3	体液(酸塩基平衡、浸透圧、電解質と体液	調節の	仕組み)			
	4	栄養と代謝(栄養素、エネルギーを得る仕名	組み)					
講	5	外呼吸(大気、気道と肺胞、血液の酸素化	と二酸化	上炭素(の放出)			
	6	循環(酸素運搬と臓器血流) 組織酸素代	射 内音	『環境(体液∙冒	重解質の	役割と	その調質
義	7	内部環境(酸塩基平衡・浸透圧・体温の役)	割とその)調節)				
	8	疾患の原因(主因と誘因、内因と外因、遺化	云性と狐	【発性、	先天性	と後天	生)	
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

評価	方法	終講試験など			
評価		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	٦		
	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科	目名 生命医学倫理 学年		1					
講館	师名	尾形敬次	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	·目標							
市民社	会の成	立、生命の尊厳、社会規範、宗教哲学等生命倫理をめぐる	S基本問題	を理解す	る。			
	1	インフォームドコンセント						
	2	中絶と出生前診断・生殖技術						
	3	脳死と臓器移植						
	4	安楽死と治療停止						
講	5	遺伝子解読•医療問題						
	6	患者一医療関係者						
義	7	看護と介護						
	8	まとめ						
内	9							
	10							
容	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
•		•						

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

		<u> </u>	<u>チイキト ン :</u>	<u>ノハ</u>	<u> ヘノ</u>				
科	目名	体育:	I					学年	1
講自	师名	高橋 幸	時間	数	60	単位数	2	コマ数	30
教科	目標								
消防就	職を見	健全な身体発達を図れる。 居えた体力・筋力トレーニングが出来る。 ・救急活動に耐えうる身体作りが出来る。							
	1	オリエンテーション							
	2	ランニング							
	3	自重によるトレーニング							
	4	マシンによるトレーニング							
	5	小隊対抗リレー							
	6	ストレッチ							
	7	シャトルラン							
	8	ランニング							
	9	自重によるトレーニング							
	10	マシンによるトレーニング							
	11	小隊対抗リレー							
講		ストレッチ							
n m		シャトルラン							
義	14	ランニング							
7 %	15	自重によるトレーニング							
内	16	マシンによるトレーニング							
173	17	小隊対抗リレー							
容	18	ストレッチ							
T		シャトルラン							
	20	ランニング							
	21	自重によるトレーニング							
	22	マシンによるトレーニング							
	拟忌 数金	小隊対抗リレー							
	24	ストレッチ							
	25	シャトルラン							
	26	ランニング							
	27	自重によるトレーニング							
	28	マシンによるトレーニング							
	29	小隊対抗リレー							
	30	ストレッチ						<u> </u>	

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	٦		
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
	アリー	-ナ及びインドアスタジアムを使用しトレーディングを行う			
備考					

		<u> </u>	<u> </u>	•/ •/				
科目	1名	英語Ⅱ					学年	2
講郎	币名	日野 忠大	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科								
国際社会	会に対り 付ける。	応し得る能力を養い、英会話の基礎を身に付ける。また	医療従事者と	して、人	体の部位の	の英単語及	及び医療的	な英会話
	1	海外の救急・教科書紹介						
	2	日常の英単語・発音						
	3	日常の簡単な英会話						
	4	身体部位の英単語・発音						
	5	医療英会話						
	6	患者との英会話						
	7	英語映画ビデオから会話を学ぶ						
	8	まとめ						
	9							
	10							
	11							
講	12							
舑	13							
義	14							
我	15							
内	16							
ניק	17							
容	18							
台	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
評価	方法	終講試験など						

計価力法								
	新G 評P 価A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。						
評価基準		B(80~89点):教科目標達成において優れている。						
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定				
準		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
備考	備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する							

科目名	シミュレーション実習	国 II				学年	2
講師名	専任教員	時間数	360	単位数	8	コマ数	180

教科目標

救急隊員の責務、心構え、知識の向上を実技及びシミュレーションを通し、国家試験合格レベルの学力を身につける。また、MCの意味を理解する。さらに近年のプレホスピタルケアの処置拡大に伴う高度化した救急資機材の機能や特性を把握し、取扱いの習熟、保守管理を含めた手技を実習を通して学ぶ。

	1~8	観察(疾患) 脳·神経系、呼吸器系、循環器系
	9~30	観察(外傷)JPTECの活動(初期評価・全身観察・車内活動・継続観察・詳細観察)
	31~40	JRC蘇生ガイドランによる心肺蘇生法(乳児、小児、成人の気道確保)
	40~47	用手による気道確保とBVM法による人工呼吸
	48~58	異物除去法(マギール鉗子、喉頭鏡、背部叩打法(乳児、小児、成人))
	59~63	酸素投与法 (O2マスク、カヌラ、ベンチュリーマスク、気管切開用マスク)
	64 ~ 75	チュービング法(LM、TwowayTyube、気管内挿管、気管切開用チューブの取扱い)
	76 ~ 90	静脈路確保法
	91~120	訓練礼式(各個訓練・小隊訓練)
	121~130	隊活動訓練(隊員間の連携・情報
	131~140	徽章式研究発表訓練(気管挿管・トリアージ・静脈路確保確保・JPTEC・内因性疾患)
講	141~159	除細動(心停止をきたす致死的不整脈)心室細動と心室頻拍の鑑別
舑	160~170	除細動(心停止をきたす致死的不整脈)包括化指示による除細動
義	171~180	病院実習前授業(ストレッチャー・心電図・除細動器の取り扱い・清潔操作など)
我		
内		
14		
容		
ъ.		

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
弾 評	〜 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	J		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名			一般知能•一般知識Ⅱ										学年	2
講館	师名		7	大室	英幸、F	田村	和香子		時間数	90	単位数	6	コマ数	45
教科	·目標	•												
将来の	就職試	験でも必要	要となる	一般知	知能•一	般知	識の基礎知識	を学ぶ。						
	1~7	社会科学	政治(国	国会・▷	为閣∙人	権など	三)経済(市場経済	斉・金融と	財政など)					
	8~14	人文科学	日本史	!•世界	史・地理	里•文:	学・芸術など							
	15~21	判断推理	集合·i	論理・信	位置関係	系など								
		数的推理												
						5文•	英文・数表・グラフ	など						
		適性試験												
	43~45	自然科学	物理・化	化学·约	生物・地	学なと	<u>:</u>							
講														
義														
内														
容														
評価方法		終講試験	など											

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	│価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考	1:00 1114	プンセサミを使用する プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名	ショック・循環不全						2
講師名	境 純平	時間数	30	単位数	2	コマ数	15

教科目標

生命維持に重要な「ショック・循環不全」に対し、分類とその判断方法を知る。ショックに伴い起こる生体反応、特に体液の移動による補整を理解する。 血圧低下に対し交感神経およびカテコラミンの働きを理解する。 ※実務経験のある教員等による授業科目となる

	1	総論~定義と概念、種類と分類
	2	総論~病態、ショックの判断
	3	総論~各種ショックの判別、緊急度・重症度の判断、各種ショックの共通の観察と処置
	4	循環血液量減少性ショック~発生機序、循環動態の変化、生体反応、体液変動
	5	循環血液量減少性ショック~原因疾患、症候、現場活動、輸液
	6	心原性ショック~原因疾患と発生機序、循環動態
	7	心原性ショック~症候、現場活動
	8	心外閉塞・拘束性ショック~原因疾患と発生機序
	9	心外閉塞・拘束性ショック~症候
	10	心外閉塞・拘束性ショック~現場活動、輸液
	11	血液分布異常性ショック~種類と発生機序
講	12	血液分布異常性ショック~症候
舑	13	外傷の病態生理 侵襲への反応 循環動態、炎症性メディエータ
義	14	外傷の病態生理 侵襲への反応 代償反応の破綻 急性期後の障害
我	15	外傷の病態生理 外傷に伴うショック 出血性ショック 非出血性ショック
	16	
73	17	
容	18	
ū	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基 準	評Ρ	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	Υ.	単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名			化学損傷							2
講館	师名	金沢医科大学病院医師 、	中田	敏弘	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
	.目標 傷の病!	態生理と救急処置法などを中心に学	<i>స</i> ం							
	1	原因と病態								
	2	化学損傷の特徴								
	3	症状と処置								
	4	皮膚所見の特徴								
	5	汚染衣服の除去								
	6	洗浄								
	7	中和剤								
	8	搬送時の注意点								
	9									
	10									
	11									
講	12									
舑	13									
義	14									
我	15									
内	16									
	17									
容	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
= □ / Ⅲ	古法	紋護試除など								

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
評価基準	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定	
準	価 A ・) 	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。]		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

┃ 科目名 ┃						学年	2	
講師	市名	金沢医科大学病院医師	時間数	30	単位数	2	コマ数	15
教科	目標							
救急医:	療におり	ナる所見の把握・検査・処置方法・救急医療体制を中心に、	現場観察	での重要	観察ポイン	小を学ぶ	0	
		救急活動の基本						
		初期評価と対応						
	3	2次評価と対応						
		外見の観察						
	5	バイタルサイン関連事項の観察						
	6	神経学的所見の観察						
	7	観察法の基本						
	8	皮膚の観察						
	9	頭部・顔面・頸部の観察						
	10	胸部の観察						
	11	腹部の観察						
講	12	骨盤・四肢の観察						
中	13	緊急度と重症度						
義	14	判断の基準						
我	15	判断後の対応						
内	16							
F 3	17							
容	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
			_	_				

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	Υ.	単位認定	
準	価 A ・) 	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名								2					
講館	師名	三戸 浩平、井手 生朗	時間数	30	単位数	2	コマ数	15					
	計目標 (解剖生	理 8~15は症候・病態 を中心に理解する。											
	1	消化管の解剖(1年生の復習)											
	2	消化管の役割											
	3	口腔・咽頭 誤飲と誤嚥											
	4	食道 胃											
	5	小腸 膵液 胆汁											
	6	大腸 肝臓 門脈											
	7	膵臓											
	8	11. 腹痛 A. 発生機序 B. 原因疾患 C. 部位 D	. 既往歴										
	9	F 緊急度·重症度の判断 G 現場活動											
	10	12. 吐血·下血 p775 4. 消化系疾患(B 歯・口腔疾	実患まで)										
	11	C 食道疾患 1. 食道静脈瘤破裂 2. マロリーワイス 3. 特発性食道破裂											
講	12	D 胃·十二指腸疾患 1. 胃·十二指腸潰瘍 2. 急性腎	胃粘膜病変 3.	急性胃腸	易炎 4.ア	ニサキス							
D#7	13	5. 胃がん E 腸疾患 1. イレウス 2. 上腸間膜動脈	閉塞症 3. へん	ルニア嵌む	頃								
義	14	4. 急性虫垂炎 5. 大腸穿孔 6. 大腸憩室炎 7. 虚	血性大腸炎 8	3. 大腸が	た								
元	15	9. IBD 10. 痔核 11. 急性腹膜炎 F 肝臓・胆嚢・	膵臓の疾患										
内内	16												
''	17												
 容	18												
	19												
	20												
	21												
	22												
	23												
	24												
	25												
	26												
	27												
	28												
	29												
	30												
		Tu											
▮ 輕価	方法	終講試験など											

評価	万法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基 準	│価 A │	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

講師名 若山 博文、佐藤 友彦 時間数 30 単位数 2 コマ数 15 数科目標 小肺停止の判断や病態生理、心肺蘇生法などを中心に学ぶ。最新のJRC数を対力イドライン及び心肺禁生法の歴史を学ぶ。 1 設論・定義・概念 2 総論・定義・概念 2 総論・定義・概念 2 総論・企業・JRCがイドライン(1) 3 設論・ウツタイン様式・JRCがイドライン(2) 4 心肺停止に至る病態と原因・生体酸未状況 6 心肺停止に至る病態と原因・生体酸未状況 6 心肺停止に至る病態と原因・生体酸未状況 6 心肺停止に至る病態と原因・生体酸未状況 10 心肺疫生中の順環・過費圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環・投資性 12 心肺蘇生中の循環・全身の循環・経循環 12 心肺蘇生中の循環・経循環 13 心拍再開後の病態・血血による臓器障害 14 心拍再開後の病態・回塩による臓器障害 15 心拍再開後の病態・可灌洗障害 15 い拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 19 19 19 19 19 19 19	科目	1名	心肺停止						2
心肺停止の判断や病態生理、心肺蘇生法などを中心に学ぶ。最新のJRC蘇生ガイドライン及び心肺蘇生法の歴史を学ぶ。 1 総論~定義・概念 2 総論~変章・概念 2 総論~安学・JRCガイドライン(1) 3 総論~ウツタイン様式・JRCガイドライン(2) 4 心肺停止に至る病態と原因~心肺停止に至る病態 5 心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況 10 心肺停止に至る病態との循環~診療性・企動発性 11 心肺蘇生中の循環~診療・記の循環 11 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~全身の確違・記循環 12 心肺蘇生中の循環~上の循環・記の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態~虚血による腸器障害 14 心拍再開後の病態~血血による腸器障害 15 心拍再開後の病態~血血による腸器障害 16 心拍再開後の病態~血血による腸器障害 17 つ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	講的	石	若山 博文、佐藤 友彦	時間数	30	単位数	2	コマ数	15
最新のJRC蘇生ガイドライン及び心肺蘇生法の歴史を学ぶ。 1 総論〜定奏・概念 2 総論〜度学・JRCガイドライン(1) 3 総論〜ウツタイン株式・JRCガイドライン(2) 4 心肺停止に至る病態と原因へ少肺停止に至る病態 5 心肺停止に至る病態と原因〜生体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因〜生体酸素状況 7 心電図分類〜企業細勢/無所性心室類拍 8 心電図分類〜心を細動・無所性心室類拍 10 心肺蘇生中の循環〜全身の循環・短角性 2 心肺蘇生中の循環〜と身の循環・短角環 2 心肺蘇生中の循環〜と身の循環・経験で指理 11 心肺蘇生中の循環〜医過循環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 11 心抗再開後の病態〜虚血による顕端障害 14 心拍再開後の病態〜心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 88 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	教科	目標							
2 総論・安学・JRCガイドライン(1) 3 総論・ウツタイン様式・JRCガイドライン(2) 4 心肺停止に至る病態と原因~心肺停止に至る病態 5 心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因~生な原因疾患 7 心電図分類~心室細動/無脈性心室頻拍 8 心室図分類~心溶細か/無脈性心室頻拍 9 心電図分類~心静止 10 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~自作上的による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~監備環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態~虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 15 い拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 18 19 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29 29 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29 29 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	心肺停 最新の	止の判 JRC蘇:	断や病態生理、心肺蘇生法などを中心に学ぶ。 生ガイドライン及び心肺蘇生法の歴史を学ぶ。						
3 総論〜ウツタイン様式・JRCガイドライン(2) 4 心肺停止に至る病態と原因〜止体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因〜生体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因〜主な原因疾患 7 心電図分類〜心薬細性電気活動 9 心電図分類〜心静止 10 心肺禁生中の循環〜胞骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺禁生中の循環〜配合循環・配循環・犯循環・犯循環・犯循環・犯循環・犯指理・犯 心拍再開後の病態〜由血による臓器障害 12 心肺薬生中の循環〜膨骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態〜中拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 7		1	総論~定義·概念						
4 心肺停止に至る病態と原因~止体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況 7 心電図分類~心室細動/無脈性心室鎖拍 8 心電図分類~心静止 10 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫の効果に影響する因子 11 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫の効果に影響する因子 12 心肺蘇生中の循環、胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態~虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16		2	総論~疫学・JRCガイドライン(1)						
5 心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況 6 心肺停止に至る病態と原因~主な原因疾患 7 心電図分類~心室細動/無脈性心室頻拍 8 心電図分類~無脈性電気活動 9 心電図分類~心静止 10 心肺禁生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺禁生中の循環~と身の循環・記循環 12 心肺禁生中の循環~と身の循環・記循環 14 心拍再開後の病態~血血による融器障害 15 心拍再開後の病態~血血による融器障害 15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29		3	総論~ウツタイン様式・JRCガイドライン(2)						
6 心肺停止に至る病態と原因~主な原因疾患 7 心電図分類~心室細動/無脈性心室頻拍 8 心電図分類~無脈性電気活動 9 心電図分類~心静止 10 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~解循環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態~虚血による脲器障害 14 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		4	心肺停止に至る病態と原因~心肺停止に至る病態						
7 心電図分類~心室細動/無脈性心室頻拍 8 心電図分類~無脈性電気活動 9 心電図分類~心静止 10 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~全身の循環・冠循環 12 心肺蘇生中の循環~経循環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態~虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態~直に表る臓器障害 15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16		5	心肺停止に至る病態と原因~生体酸素状況						
8 心電図分類〜無脈性電気活動 9 心電図分類〜心静止 10 心肺蘇生中の循環〜胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環〜全身の循環・冠循環 12 心肺蘇生中の循環〜監備環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態〜血血による臓器障害 14 心拍再開後の病態〜心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 内 16 内 17 88 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 29		6	心肺停止に至る病態と原因~主な原因疾患						
9 心電図分類~心静止 10 心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環~と身の循環・冠循環・記循環・記循環・記循環・記循環・心力・		7	心電図分類~心室細動/無脈性心室頻拍						
10 心肺蘇生中の循環〜胸骨圧迫による循環発生の機序 11 心肺蘇生中の循環〜全身の循環・冠循環 12 心肺蘇生中の循環〜監循環・胸骨圧迫の効果に影響する因子 13 心拍再開後の病態〜虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態〜心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16		8	心電図分類~無脈性電気活動						
11		9	心電図分類~心静止						
12		10	心肺蘇生中の循環~胸骨圧迫による循環発生の機序						
請 13 心拍再開後の病態~虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態~再灌流障害 15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29		11	心肺蘇生中の循環~全身の循環・冠循環						
13 心拍再開後の病態~虚血による臓器障害 14 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	譁	12	心肺蘇生中の循環~脳循環・胸骨圧迫の効果に影響する因子						
15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子	叶	13	心拍再開後の病態~虚血による臓器障害						
15 心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する因子	盖	14	心拍再開後の病態~再灌流障害						
内 17 18 19 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29	我	15	心拍再開後の病態~心拍再開後の回復過程・回復に影響する	因子					
容	内	16							
日 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	Pi	17							
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	灾	18							
21 22 23 24 25 26 27 28 29	ъ.	19							
22 23 24 25 26 27 28		20							
23 24 25 26 27 28 29		21							
24 25 26 27 28 29		22							
25 26 27 28 29		23							
26 27 28 29		24							
27 28 29		25							
28 29		26							
29		27							
		28							
30		29							
		30							

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	7	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名 体液管理 学							学年	2		
講師	币名	三戸 浩平	時間数	15	単位数	1	コマ数	8		
教科 血液•体		- 			·					
	1	血液・免疫系~血液、血球、血漿、骨髄の構造と機能								
		血液・免疫系~脾臓、止血と凝固、止血と凝固、免疫								
		血液・免疫系~総論、血液疾患、免疫疾患								
		代謝障害~糖質・脂質・蛋白質・の代謝異常、体液と電解質	異常、酸塩基平		 }泌異常					
		その他の代謝異常								
	6	溺水~病態生理、観察と処置								
	7	熱中症~疫学、病態生理、観察、処置、搬送時の注意								
	8	偶発性低体温~発生機序と病態生理、観察、処置								
	9									
	10									
	11									
講	12									
TTTT	13									
義	14									
~	15									
内	16									
	17									
容	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	Υ.	単位認定	
準	価 A ・) 	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科	目名	中毒/アレルギ		学年	2			
講館	师名	若山 博文、金沢医科大学病院医師	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
	·目標 アレル=	ギーの病態生理と救急処置法などを中心に学ぶ。						
	1	中毒物質と中毒経路						
	2	中毒の病態生理と観察・処置						
	3	医療品中毒						
	4	農薬中毒、工業薬品中毒						
	5	ガス中毒、アルコール中毒						
	6	自然毒中毒						
	7	家庭用品中毒、覚醒剤中毒						
	8	アレルギーの病態生理と観察・処置						
	9							
	10							
	11							
講	12							
D 173	13							
義	14							
122	15							
内	16							
''	17							
容	18							
"	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基 準	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定	
準	ー価 A ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		敗命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

議師名 北海道大学病院医師 時間数 15 単位数 1 コマ数 8 数科目標 頭部・顕部損傷の病態生理とJPTECに基づく観察、重症度判断、処置を中心に学ぶ。 1 ロードアンドゴーの概念 ゴールデンアワーとトラウマバイバス 2 状況評価、3 初期評価 2 今報察 4 詳細観察と継続観察 顕相固定と全脊柱固定 5 頭部の解剖生理 一次損傷と二次損傷 8 頭部外傷の判断と処置 9 9 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	科目名		頭部•頸椎損傷						2	
頭部・頭部損傷の病態生理とJPTECに基づく観察、重症度判断、処置を中心に学ぶ。 1 ロードアンドゴーの概念 ゴールデンアワーとトラウマバイバス 2 牧児評価、感染防跡、現場評価 3 初期評価 全身観察 4 詳細観察と継続観察 頸椎固定と金脊柱固定 5 頭部の解倒生理 一次損傷と一次損傷 6 脳浮腫、調蓋内圧亢進 8 頭部外傷の判断と処置 9 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	講自	币名	北海道大学病院医師	時間数	15	単位数	1	コマ数	8	
2 状況評価、感染防御、現場評価 3 初期評価 全身観察 4 詳細観察と継続観察 頭権固定と全脊柱固定 5 頭部の解剖生理 一次損傷と二次損傷 6 脳浮腫、頭蓋内圧亢進 7 脳へルニア、頭蓋内出血 頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、脳挫傷、反衡損傷 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29										
3 初期評価 全身観察 4 詳細観察と継続観察 顕権固定と全脊柱固定 5 頭部の解剖生理 一次損傷と一次損傷 6 脳浮腫、頭蓋内圧亢進 7 脳ヘルニア、頭蓋内出血・頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、脳挫傷、反衝損傷 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29		1	ロードアンドゴーの概念 ゴールデンアワーとトラウマバイパス							
4 詳細観察と継続観察 頚椎固定と全脊柱固定 5 頭部の解剖生理 一次損傷と二次損傷 6 脳浮腫、頭蓋内圧亢進 7 脳ヘルニア、頭蓋内出血 頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、脳挫傷、反衡損傷 8 頭部外傷の判断と処置 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 24 25 26 27 28 29		2	状況評価、感染防御、現場評価							
5 頭部の解剖生理 一次損傷と二次損傷 6 脳浮腫、頭蓋内圧亢進 7 脳ヘルニア、頭蓋内出血 頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、脳挫傷、反衡損傷 8 頭部外傷の判断と処置 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 10 10 10 10 10 10 10		3	初期評価 全身観察							
6		4	詳細観察と継続観察 頸椎固定と全脊柱固定							
7 脳ペルニア、頭蓋内出血 頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、脳挫傷、反衡損傷 8 頭部外傷の判断と処置 9 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		5	頭部の解剖生理 一次損傷と二次損傷							
### 18 頭部外傷の判断と処置 10		6	脳浮腫、頭蓋内圧亢進							
9		7	脳ヘルニア、頭蓋内出血 頭蓋骨骨折、頭蓋底骨折 脳振盪、	脳挫傷、反征	新損傷					
10		8	頭部外傷の判断と処置							
11		9								
12		10								
13		11								
13	= #	12								
15	砰	13								
15	羊	14								
17	我	15								
容	rts	16								
容 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 29	[7]	17								
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	灾	18								
21 22 23 24 25 26 27 28 29	台	19								
22 23 24 25 26 27 28 29		20								
23 24 25 26 27 28 29		21								
24 25 26 27 28 29		22								
25 26 27 28 29		23								
26 27 28 29		24								
27 28 29		25								
28 29		26								
29		27								
		28								
30		29								
		30								

評価方法		終講試験など			
評価基		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価A 	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名		泌尿器•生殖器						学年	2	
講館	币名	三瓶 泰子		時間数	15	単位数	1	コマ数	8	
	教科目標 必尿生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。									
	1	泌尿器系 構造と機能								
	2	生殖器系 構造と機能								
	3	血尿の原因と病態生理								
	4	観察と判断								
	5	症状の特徴								
	6	泌尿器系疾患								
	7	生殖器系疾患								
	8	まとめ								
	9									
	10									
	11									
講	12									
H ⁺ T	13									
義	14									
7%	15									
内	16									
	17									
容	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
評価基準	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定	
準	価 A ・) 	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。]		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名		免疫/代謝/炎症					学年	2		
講的	币名	三戸 浩平	時間数	15	単位数	1	コマ数	8		
	教科目標 免疫不全や代謝異常・炎症の病態生理と救急法を学ぶ。									
	1	内分泌系~内分泌、内分泌器官								
	2	代謝・内分泌・栄養系疾患~総論、糖尿病とその合併症								
	3	代謝・内分泌・栄養系疾患~その他の代謝異常、内分泌疾	患、栄養疾患							
	4	免疫(役割・仕組み・免疫系・アレルギー)1								
	5	免疫(役割・仕組み・免疫系・アレルギー)2								
	6	免疫疾患(アナフィラキシー・アレルギー・自己免疫疾患・膠	『原病)							
	7	感染症~総論、敗血症、結核、インフルエンザ								
	8	感染症~食中毒、輸入感染症、発疹性感染症、性病感染症	走、その他感染症 	Ē						
	9									
	10									
	11									
講	12									
	13									
義	14									
	15									
内	16									
	17									
容	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	00									

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名		薬剤技	경				学年	2
講師	币名	大石 悦子	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
心肺停	止傷病	者の病態に応じて薬剤投与を的確に施行する知識	を身に付ける。また	-薬剤投	与に伴う危	険認識、	人体の影響	響を学ぶ。
	1	薬物総論						
		薬物の有害作用						
	3	救急救命処置に用いられる薬剤						
	4	アドレナリン・乳酸リンゲル・ブドウ糖						
	5	使用頻度の高い薬(1)						
	6	使用頻度の高い薬(2)						
	7	輸液・輸血製剤						
	8	保存と保守管理						
	9							
	10							
	11							
講	12							
H 17	13							
義	14							
我	15							
内	16							
,,	17							
容	18							
Ъ	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	〜 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目名	臨床実習					学年	2
講師名	実習指導医	時間数	160	単位数	4	コマ数	80

教科目標

救急救命士の行う救急救命処置は専門的な知識及び技能を要するため、救急医療を担当する医師の指導の下、病院内に於いて救 急医療に関連した知識の応用と、救急救命処置に係わる技能の習得を主体に、医療現場の見学と医行為の介助等を通じて診療の 補助に対する理解を深める。

	別紙 臨床実習要綱による。
講	
нт	
義	
72	
内	
容	
1	

評価方法		終講試験など			
評価基		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。)	単位認定	
基準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考	実習	救命士標準テキスト 要領に基づき実習を行い、 設の指示に従い実習を実施する			

科目名		痙攣•脳圧亢	進				学年	2		
講自	币名	池上 徹則	時間数	15	単位数	1	コマ数	8		
教科	目標									
けいれ	ん・ 脳圧	亢進の病態とメカニズム及び救急処置法などを中心に	学ぶ。							
	1	重症脳障害~総論・発生機序・一次脳病変・二次脳病変								
2 重症脳障害~頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア・特殊な意識障害										
	3	意識障害~原因・随伴症候・判別を要する病態								
	4	意識障害~緊急度・重症度の判断・現場活動								
	5	痙攣~定義と概念・病態・種類・原因疾患								
	6	痙攣~随伴症候・判別を要する病態・緊急度・重症度の判断	f·現場活動							
	7	失神~定義と概念・原因疾患								
	8	失神〜判別を要する病態・緊急度・重症度の判断・現場活動	t e e e e e e e e e e e e e e e e e e e							
	9									
	10									
	11									
講	12									
41.7	13									
義	14									
.~	15									
内	16									
	17									
容	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									

評価方法		終講試験など			
評価基準		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
	〜 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定	
準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

	<u> </u>	;	<u>ハ/</u>				
科目名	科目名				学年	2	
講師名	高橋 幸	時間数	60	単位数	2	コマ数	30
教科目標							
	健全な身体発達を図れる。 据えた体力・筋力トレーニングが出来る。						

		・救急活動に耐えうる身体作りが出来る。
	1	説明(資機材・施設・準備体操・トレーニング方法等)
	2	ランニング
	3	自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	4	マシンによる筋力トレーニング
	5	小隊対抗リレー
	6	ストレッチ
	7	ダッシュ連続による体力練成
	8	ランニング
	9	自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	10	マシンによる筋力トレーニング
	11	小隊対抗リレー
講	12	ストレッチ
舑	13	ダッシュ連続による体力練成
¥	14	ランニング
義	15	自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
内	16	マシンによる筋力トレーニング
M	17	小隊対抗リレー
rato	18	ストレッチ
容	19	ダッシュ連続による体力練成
	20	ランニング
	21	自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	22	マシンによる筋力トレーニング
	23	小隊対抗リレー
	24	ストレッチ
	25	ダッシュ連続による体力練成
	26	ランニング
	27	 自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	28	マシンによる筋力トレーニング
	29	小隊対抗リレー
	30	ストレッチ

評価方法		終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	単位認	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
	アリー	-ナ及びインドアスタジアムを使用しトレーニングを行う			
備考					

科目名	科目名 シミュレーション実習Ⅲ					学年	3	
講師名	専任教員	時間数	360	単位数	8	コマ数	180	
教科目標 実技試験・筆記試験にむけた、個人・チームでの取り組みをとおし、救急隊員、救急救命士としての活動、手技、知識、学力を身につける。また同時に、チーム協同で問題解決を目指すことの大切さを学ぶ。								
1~10	1~10 JPTEC							

	1~10	JPTEC
講	11~30	PEMEC
	31~40	応急手当指導要領
義	41~43	分娩介助、新生児の処置(三瓶)
我	44~60	心肺停止前の輸液
内	61~70	血糖測定、ブドウ糖投与
^	71~90	特定行為の総合
容	91~120	心肺停止症例の現場活動
	121~150	内因性症例の現場活動
	151~180	外因性症例の現場活動

評価方法		終講試験など			
評		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7		
	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P (C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		敗命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

			<u> </u>	<u>ハ/</u>				
科	目名	一般外傷					学年	3
講館	師名	専任教員、中田敏弘、	時間数	45	単位数	3	コマ数	23
教科	目標							
		病態生理、主な外傷、現場活動の理解。 災害や病院前救護を含めた救急医療体制全般を復習する。						
	1	救急医療体制(病院前救護、救急医療システム)						
	2	多数傷病者対応 トリアージ 大規模災害 特殊災害						
	3	感染防御 救急資器材・救急車内の洗浄や消毒 感染事故と	その対応					
	4	外傷の疫学 受傷機転とエネルギー 外傷の分類						
	5	主な受傷形態						
	6	外傷の病態生理						
	7	外傷の現場活動 JPTEC(目的、歴史も含める)						
	8	頭部外傷(特徴)						
講	9	頭部外傷(主な頭部外傷)						
	10	顔面·頸部外傷						
義	11	脊椎·脊髄外傷						
	12	胸部外傷(特徴、主な外傷1)						
内	13	胸部外傷(主な外傷2、現場活動)						
	14	腹部外傷(特徴、主な外傷1)						
容	15	腹部外傷(主な外傷2、現場活動)						
	16	骨盤·四肢外傷						
	17	皮膚・軟部組織外傷(分類、現場活動)						
	18	皮膚・軟部組織外傷(クラッシュ症候群、コンパートメント症候群な	:ど)					
	19	小児・高齢者・妊婦の外傷						
	20	熱傷 化学損傷 電撃症						
	21	縊頸 絞頸						
l	22	制応復						

評価	方法	終講試験など			
評		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	7	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考	救急:授業:	枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

23 試験対策(まとめ)

科目名・一般知能・一般知識皿							学年	3		
講館	币名	大室 英幸、田村 和香子	時間数	45	単位数	3	コマ数	23		
教科	目標									
将来の	将来の就職試験でも必要となる一般知能・一般知識の基礎知識を学ぶ。									
1寸木07	小小山北口八百	大「日心安」は、一次、日本の一般の一般には、「一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一								
講	1~3	社会科学 政治(国会・内閣・人権など)経済(市場経済・金融と	財政など)							
	4~7	人文科学 日本史・世界史・地理・文学・芸術など								
義	8~10	判断推理 集合・論理・位置関係など								
	11~14	数的推理 方程式・不等式・整数・図形など								
内	15~18	文章理解・資料解釈 現代文・古文・英文・数表・グラフなど								
	19~21	適性試験 適性・作文など								
容	22~23	自然科学 物理・化学・生物・地学など								

評価	i方法	終講試験など			
評価基		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。			
	ん 新 G	B(80~89点): 教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	- [単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		プンセサミを使用する プリント及びテレビモニターを使用する			

		マックル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・ストル・スト	<u> </u>					
科目	目名	顔面外傷					学年	3
講師名		境 純平	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	教科目標							
		理、外傷の特徴、救急処置法などを中心に学ぶ。 ある教員等による授業科目となる						
講	1	顔面の解剖生理。						
一一	2	顔面損傷、吹き抜け骨折。						
義	3	頸部損傷、軟部組織損傷。						
我	4	口腔内·気道損傷。						
	5	症状と処置。						
内	6	判断と処置、搬送。						
 容	7	気道異物。						
谷 	8	消化管異物。						

評価	i方法	終講試験など			
評		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	٦		
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

		<u> </u>	<u>ンフ/</u>	<u> ハ / /</u>	*			
科	目名	救急医学総括					学年	3
講自	师名	専任教員、佐々木美香、中田敏宏、井手生朗、若山博文	時間数	90	単位数	6	コマ数	45
教科	目標							
〇国》	家試験!!	式の試験・模擬試験(10試験を対象予定)等を、学生や教員 こ合格する力をつける。 レープで、問題を分析・検討し、答えを導き出す力をつける。 々、それを取り巻く社会環境の現状・課題に目を向ける習慣			説することで	÷.		
	1~45	テキスト全範囲の国家試験対策						
-#								
講								
義								
我								
内								
173								
容								
_								
評価	方法	終講試験など						
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。]		
評 価	刺り	B(80~89点):教科目標達成において優れている。						
基	評 P 価 A	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している	-			<u> </u>	単位認定	
準	— X	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達してい						
	1. D.	F(59点以下または不合格):教科目標を達成することがで	きなかった	<u> </u>				
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する						

1名	救急用自動車同乗	実習				学年	3
师名	実習指導者	時間数	48	単位数	1	コマ数	24
·目標							
本部で	実際に救急車に同乗し救急処置の実践的な知識・技術と接	遇を身に	つける。				
	救急車に同乗しての実習(出動)、待機中の訓練・研修など、実	習指導者の	り指示で行	·う。			
	国名 一	本部で実際に救急車に同乗し救急処置の実践的な知識・技術と接	時間数 実習指導者 時間数 日標本部で実際に救急車に同乗し救急処置の実践的な知識・技術と接遇を身に	本部で実際に救急車に同乗し救急処置の実践的な知識・技術と接遇を身につける。	時相数 実習指導者 時間数 48 単位数 目標	東習指導者 時間数 48 単位数 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東習指導者 時間数 48 単位数 1 コマ数 日標 本部で実際に救急車に同乗し救急処置の実践的な知識・技術と接遇を身につける。

評価	i方法	終講試験など				
評価基準		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1			
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。				
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定		
準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。				
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。				
救急救命士標準テキスト ^{備考} 実習要領に基づき実習を行い、 各施設の指示に従い実習を実施する						

科目	名	高齢者疾患					学年	3
講的	币名	中田 敏宏	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	教科目標							
高齢者	疾患の	特殊性、救急処置法などを中心に学ぶ。						
講	1	高齢者の特徴、加齢による変化。						
叶	2	予備能力、修復力の低下。						
義	3	観察・問診のポイント。						
我	4	高齢者によくみられる救急疾患。						
内	5	脳血管障害、認知症。						
	6	虚血性心疾患、肺気腫、COPD。						
容	7	誤嚥性肺炎、骨粗しょう症。						
台	8	動脈閉塞性疾患、前立腺肥大、その他。						

評価	i方法	終講試験など				
評価基		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	7			
	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。				
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定		
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。				
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。				
救急救命士標準テキスト 備考 授業プリント及びテレビモニターを使用する						

科目	1名	産婦人科・周産期疫	患				学年	3		
講師名		三瓶 泰子	時間数	15	単位数	1	コマ数	8		
教科	目標									
産婦人	産婦人科疾患、周産期疾患の特殊性と救急処置等を中心に学ぶ。									
講	1	妊娠と関連した疾患の特徴。								
n #)	2	正常分娩の機序。								
義	3	分娩の取り扱いと母体搬送。								
我	4	観察・問診のポイント。								
_	5	流産、子宮外妊娠。								
内	6	妊娠中毒症、前置胎盤。								
容	7	常位胎盤早期剥離、子宮破裂。								
	8	弛緩出血、羊水塞栓。								

評価	i方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	٦		
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	目名	骨盤四肢外傷					学年	3
講師名		専任教員	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	教科目標							
運動器	の解剖	生理、骨盤四肢の外傷、主な疾患を学ぶ。						
講	1	疾患の理解に必要な解剖・生理。						
D 113	2	筋・骨格系疾患にみられる症状の特徴。						
義	3	脊椎疾患•外傷。						
我	4	関節炎、横紋筋融解症。						
内	5	骨折の形態。						
	6	骨折の出血量・重症度・処置。						
灾	7	骨盤骨折の症状・病態と観察。						
容	8	骨盤骨折時の対応。						
•								

評価	i方法	終講試験など			
評価基準		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ז		
	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		敗命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

- 1	到日夕	hn ♀=△ ㅠ					***	
	科目名	処置論 Ⅱ					字年	3
	講師名	工藤朝生	時間数	15	単位数	1	コマ数	8

教科目標

平成26年4月に救急救命処置に追加された「心肺停止前の静脈路確保と輸液、血糖測定とブドウ糖投与」の理論を学ぶとともに、今後予想される課題を含めた対応についての実践的な知識を検討する。 ※実務経験のある教員等による授業科目となる

講	1	意識障害の鑑別(1)
叶	2	意識障害の鑑別(2)
義	3	意識障害の鑑別(3)
我	4	ブドウ糖投与
内	5	血糖測定とブドウ糖投与のプロトコール
	6	薬剤投与プロトコール
容	7	静脈路確保の実際
	8	拡大処置の実際と今後の課題

評価	方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	1		
評	へ 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価 基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		単位認定	
基準	価A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		救命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

科目	1名	小児・新生児疾患	1				学年	3
講師名		井手 生朗	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	目標							
小児、第	小児、新生児の、解剖生理的特長、特有疾患等の理解							
講	1	小児期の発育発達 新生児疾患 新生児救急搬送						
1177	2	けいれん性疾患 髄膜炎 脳炎・脳症						
義	3	呼吸器疾患						
我	4	腹部疾患(主に急性腹症をきたす疾患)						
	5	腎疾患 腸炎 溶血性尿毒症症候群 乳児ボツリヌス症						
内	6	川崎病 感染症						
容	7	乳幼児突然死症候群 被虐待児症候群 小児の外傷						
	8	小児救急医療 新生児搬送 先天異常 不慮の事故 小	児がん					

評価	i方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ו		
評	ん 新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

			<u> </u>	<u> </u>				
科目	目名	精神障害	·		·		学年	3
講館	币名	三瓶 泰子	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	教科目標							
		殊性の救急搬送時の留意点などを中心に学ぶ。 ある教員等による授業科目となる						
講	1	精神障害・精神病の定義。						
舑	2	内因性·外因性精神障害。						
義	3	心因性精神障害、精神症状。						
我	4	救急活動、搬送の原則。						
-	5	自殺企図、昏迷・混迷・興奮への対応。						
内	6	病院選定と入院形式。						
容	7	悪性症候群、統合失調症。						
谷	8	躁鬱病、心因反応、その他の精神障害。						

評価	i方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ז		
評	価 類は	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
│ 価 │ 基		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

		<u> </u>	· / / /	<u> </u>				
科目	目名	熱傷•電擊傷					学年	3
講的	币名	池田 淳也	時間数	15	単位数	1	コマ数	8
教科	教科目標							
		D病態生理と救急処置法を中心に学ぶ。 ある教員等による授業科目となる						
講	1	皮膚組織の構造。						
中	2	熱傷の種類。						
義	3	重症度分類、簡易識別法。						
我	4	熱傷面積の算定。						
	5	気道熱傷と一酸化炭素中毒。						
内	6	救急処置、冷却、その他。						
虚	7	電撃、アーク放電、火焔、雷撃。						
容	8	搬送時の留意点。まとめ。						

評価	i方法	終講試験など			
		A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	ז		
評	新 G	B(80~89点):教科目標達成において優れている。			
価基	評P	C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	-	単位認定	
基準	価 A	D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。			
備考		枚命士標準テキスト プリント及びテレビモニターを使用する			

	<u> </u>	<u> </u>					
科目名	科目名						3
講師名	高橋 幸	時間数	60	単位数	2	コマ数	30
教科目標							

体力を増強し、健全な身体発達を図れる。 消防就職を見据えた体力・筋力トレーニングが出来る。 就職後の消防・救急活動に耐えうる身体作りが出来る。

坑職後 (の消防	・救急活動に耐えづる身体作りが出来る。
	1	説明(資機材・施設・準備体操・トレーニング方法等)
Ī	2	ランニング
	3	自重による筋力トレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	4	マシンによる筋力トレーニング
	5	小隊対抗リレー
[6	ストレッチ
	7	ダッシュ連続による体力練成
[8	ランニング
	9	自重による筋カトレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	10	マシンによる筋力トレーニング
	11	小隊対抗リレー
講	12	ストレッチ
砰 [13	ダッシュ連続による体力練成
義・	14	ランニング
我	15	自重による筋カトレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
内	16	マシンによる筋力トレーニング
נין	17	小隊対抗リレー
容	18	ストレッチ
	19	ダッシュ連続による体力練成
	20	ランニング
[21	自重による筋カトレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	22	マシンによる筋力トレーニング
	23	小隊対抗リレー
	24	ストレッチ
[25	ダッシュ連続による体力練成
[26	ランニング
	27	自重による筋カトレーニング(腕立て伏せ、腹筋、背筋、上半身強化、下半身強化)
	28	マシンによる筋力トレーニング
	29	小隊対抗リレー
Ī	30	ストレッチ

評価	方法	終講試験など				
	新評価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				
評		B(80~89点):教科目標達成において優れている。				
価 基 準		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。	_	単位認定		
準		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。	J			
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。				
	アリー	-ナ及びインドアスタジアムを使用しトレーディングを行う				
備考						